

学校生活と礼儀作法

—より素晴らしい学園生活のために—

1 あいさつについて

出会いはあいさつからはじまります。

あいさつは基本的なコミュニケーションの手段です。しかも、人の心の扉を開く、いわば、心と心の架け橋になるものです。そういう意味で、あいさつは、より深い人間関係を築く糸口でもあります。わが桜宮高校を、人間的ふれあいであふれる、さわやかで楽しい学園にするために、親愛と敬愛の情をあらわすあいさつを、常に心がけよう。

特に次のあいさつを励行しよう。

- a. 登下校のあいさつ、会釈
- b. 校内、廊下等ですれちがった時の軽い会釈
- c. 授業前後のあいさつ
- d. 来客に対するあいさつ、会釈

2 ことばづかいについて

言葉は、思想や感情を伝えるだけでなく、語る人の品性や人柄をも相手に伝えるものです。

また、ことばづかいは、人間関係に非常に微妙な絵影響を及ぼします。

素晴らしい人間関係をきずくために、常に、ことばづかいに留意し、来客、先生、校友に対して、T.P.O(時・場所・場合)にふさわしい言葉を使えるように努力しよう。相手に不快感を与えるような言葉や、野卑な言葉を、けっして使わないように心がけ、高い品位を保ってほしいものです。

3 図書館・食堂におけるエチケットについて

図書館や食堂を利用する時は、きめられている注意事項をよくまもろう。図書館では静粛にし、食堂では使用した食器のかたづけを特に励行しよう。

4 交友について

高校時代は人生のどの時期よりも、心の友を得やすい時期です。人生の最大の激動期ともいえる青年中期において、親よりも先生よりも心の友の方がより真実を語り合えるともいわれています。ここで生まれる友情は生涯変わらぬものとなるでしょう。しかし、親しき中にも礼儀ありと言われるように、友人間におけるエチケットは正しくまもるべきです。友情はお互いの信頼感に基礎をおいています。この信頼を裏切らないことが最大のエチケットです。

5 男女交際について

男女交際は、自己の行動に責任をもち、お互いの人権を尊重して、明朗な交際を心がけよう。

6 携帯通信機器(スマートフォンなど)について

学校より深い人間関係をつくるために直接顔を会わせてコミュニケーションをとる場です。緊急連絡は学校の電話(06-6921-5231)に連絡をしてもらうか、校内に公衆電話が設置されていますのでそれを利用してください。

したがって、学校生活において携帯電話通信機器の携帯及び使用をしてはいけません。

登下校中の安全確保のため携帯電話を持つてくることを認めていますが、校内では必ず電源を OFF にして携帯しないこととします。

暴力をもって事を解決することは、

どのような場合でもいっさい許されない。